みずほCustomer Desk Report 2022/02/08 号 (As of 2022/02/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	115.28 AUD/USD
TKY 9:00AM	115.23	1.1453	131.98	1.3531	0.7080
SYD-NY High	115.37	1.1474	132.15	1.3550	0.7130
SYD-NY Low	114.92	1.1415	131.27	1.3492	0.7066
NY 5:00 PM	115.09	1.1442	131.70	1.3535	0.7126

NY DOW	35,091.13	1.39	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	14,015.67	▲ 82.34	日本10年債	0.2000	1.00bp
S&P	4,483.87	▲ 16.66	米国2年債	1.2934	▲2.16bp
日経平均	27,248.87	▲ 191.12	米国5年債	1.7659	▲0.57bp
TOPIX	1,925.99	▲ 4.57	米国10年債	1.9186	0.38bp
ｼｶｺﾞ日経先物	27,215.00	▲ 95.00	独10年債	0.2210	1.55bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,573.47	57.07	英10年債	1.4115	0.20bp
DAX	15,206.64	107.08	豪10年債	1.9870	3.90bp
ﾊﾝｾﾝ指数	24,579.55	6.26	USDJPY 1M Vol	5.84	▲0.11%
上海総合	3,429.58	68.14	USDJPY 3M Vol	6.35	0.02%
NY金	1,821.80	14.00	USDJPY 6M Vol	6.65	0.03%
WTI	91.32	▲ 0.99	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	260.478	▲0.81	EURJPY 3M Vol	7.52	0.06%
ドルインデックス	95.40	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	7.67	0.11%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は115.23ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日経平均が寄付き安となり下げ幅を拡大する動きに朝方115.14まで下落する場面があるも、先週末から高水準で推移する米金利にｻﾎﾟｰﾄされﾄﾞﾙ円は底堅い展開となり、115.30ﾚﾍﾞﾙにて海外時間へ。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は115.30ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝし、新規材料難の中、動意乏しい値動き。朝方は円買いとなり、一時114.92まで下げた。しかし、全般的なﾄﾞﾙ売りは見られず、むしろ主要通貨に対しては買われた。114.97ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

先週の米1月雇用統計を受けて114円台後半から115円台半ばまで上昇したﾄﾞﾙ円は、週明けのｱｼﾞｱ時間でも115.30ﾚﾍﾞﾙを維持。しかし、欧州時間に入ると米株先物の冴えない値動きが重しとなり、115円ちょうど付近まで下落。早朝には対ﾕｰﾛのﾄﾞﾙ売りが波及したこともあいまって、一時115円を割り込み114.92をつけ、114.97ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は主要な米経済指標の発表も予定されておらず、海外時間の流れを引き継ぎ安値114.93まで下落。しかし、米長期金利が1.93%台に乗せる動きにｻﾎﾟｰﾄされ、115円台前半まで持ち直す。午後は高値115.17まで上昇するが、新規の手掛かり材料に欠ける中、その後は方向感無く推移。結局、115.09ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1460付近でｽﾀｰﾄ。先週大きく上昇した反動のためか、売り優勢となり1.1415まで下落するも、前日安値(1.1411)付近ではECBの金融政策引き締めの思惑を背景に強まった買い意欲が下値をｻﾎﾟｰﾄ。早朝に1.1459まで反発後、1.1455ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方はｵｰﾌﾟﾝ前に強まったﾕｰﾛ買いが一巡し、1.1420近まで反落。その後、欧州議会公聴会でのﾗｶﾞﾙﾄﾞECB総裁の発言を警戒し、1.1420-1.1440付近で神経質な値動きとなる。ﾗｶﾞﾙﾄﾞECB総裁は「ｲﾝﾌﾚﾘｽｸは上振れ方向に傾いている」、「金融政策の調整は漸進的に行っていく」などと述べるも、特段ｻﾌﾟﾗｲｽﾞは見当たらず、公聴会終了後はﾚﾝｼﾞﾄﾚｰﾄﾞ継続。午後は安値1.1418まで下落するが、またも前日安値手前では押し目の買いが入り、1.1440付近まで反発。終盤は動意乏しく推移し、結局、1.1442ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【昨日の指標等】

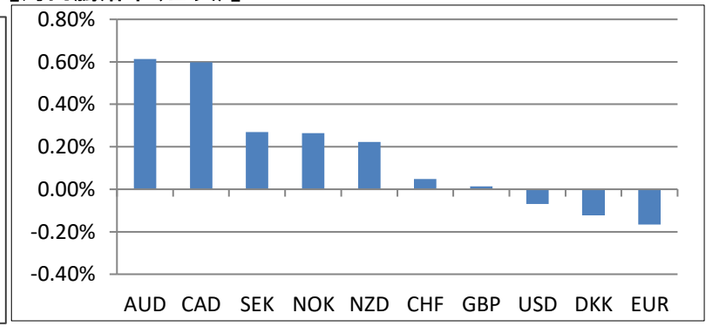
Date	Time		Event		結果	予想
2月7日	14:00	日	景気一致指数・速報	12月	92.6	92.6
	16:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	12月	-0.3%	0.5%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月8日	09:30	豪	NAB企業 景況感/信頼感	1月	-	8/-12
	22:30	米	貿易収支	12月	-$83.0b	-$80.2b

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.70-115.60	1.1400-1.1470	131.00-132.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上値重い展開。株安を背景としたクロス円下落がドル円の上値を抑えたものの、木曜日に相場を大きく動かす可能性のある米CPIの発表が控えていることもあり、115円割れでは買い支えられる展開となった。本日も米CPI待ちの相場が見込まれる。米CPIは引き続き高い水準が予想されており、3月FOMCでの50BPの利上げの可能性は捨てきれない。FED高官は利上げ初回から利上げ幅が50BPになる可能性は高くないと発言をしているものの、FEDの「データ次第」の行動に警戒感を緩めることはできず、ドルは指標発表まで底堅く推移するだろう。ドル円はドル買いに支えられ底堅いものの、115円台後半では実需や利益確定の売りが出やすく上値は重いか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・小林